

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2019～20年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日 会長 小木曾 賢己 第2609例会 2019/ 7/29
例会場：パレスホテル大宮 幹事 藤嶋 剛史 発行日 2019/ 8/ 5
例会日：月曜日 12:30～13:30 雑誌・会報 委員 横溝 一樹 週報当番 横溝 一樹

会長あいさつ

会長 小木曾 賢己

皆さん こんにちは。いよいよ猛暑到来で今週は30度半ばの厚さが毎日続く予想です。熱中症対策には充分お気をつけ頂きたいと思



います。余談ですが、タイのバンコクは現在日中が30度前後、夜は27度位との事です。何か避暑に行ってもいいような気候ですね。

先週金曜日には、荒井社会奉仕委員長と共に大宮ろう学園を訪問し、野球大会への支援として、クーラーボックス、ウォータージャグ、アクエリアス500本をお渡しして来ました。先生方の他に野球部のキャプテンからもクラブの皆様へのお礼の言葉がありました。

さて本日は児童養護施設「カルテット」の大原施設長様がお見えです。施設の概要や現状など卓話をお願いしたいと思います。

このカルテットさんですが、木本研修リーダーの紹介で今年の1月に訪問させていただき、その内情を聞かせていただき、新しい奉仕活動としては是非支援させていただきたいと思、本日お招きいたしました。本日はよろしくお願ひ致します。

ロータリーの目的・4つのテスト

<本日のリーダー>

ロータリー財団委員会

強瀬 憲治 会員

お客様紹介

竹内 雅人 副会長

さいたま市児童養護施設 カルテット
施設長 大原 岳夫 様
米山記念奨学生 ディルバ・サレマンさん

幹事報告

幹事 藤嶋 剛史 会員



- ①先週のクラブ協議会で配布した予算書ですが、当日申し上げた通り内容に一部誤りがありましたので訂正版を本日再度配布させていただきました。差し替えをお願いいたします。
- ②9/28に仙台で開催される日韓親善会議ですが、申込が7/31に延長され、当クラブへは5名参加の依頼がきております。現在4名の参加ですが、希望される方は幹事までお申し出ください。

委員長報告

青少年奉仕部門
委員長 田口 修身 会員



7/22(月)第1回
部門委員会開催のご報告

- 【派遣】 小船菜子さん
カウンセラー 円谷友香 会員
 - 【受入】 ソフィアさん(8/18 来日予定)
カウンセラー 永井 博 会員
- ※ ホストファミリー協力のお願ひ ※

伝統の上にも新しいクラブ創りへの挑戦

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



入会式

【紹介者】 柴木 健之 会員

ますながえん
万寿長園株式会社
代表取締役専務
増永 裕樹 様



増永裕樹と申します。簡単な自己紹介をさせていただきますたく存じます。当社、万寿長園は屋号が示すとおりお茶の販売を生業としておりましたが、10年ほど前にそちらは手仕舞い、現在は不動産の賃貸管理業を主に営んでおります。家族は妻と11歳の長女、3歳の長男。前職在職時に居を構えた東京都中央区勝どきから浦和まで通う日々を過ごしております。そんな私ですが大宮とはご縁があり、当家は西区清河寺の出身で現在もその地で事業を展開しております。一例を申しますと温浴施設の清河寺温泉。こちらもご縁がありまして私の高校時代の先輩が運営しておりますが、当社は事業用地の提供で協力させていただいております。また、かつては祖父の一雄が大宮西ロータリークラブにお世話になっており、私が約半世紀を経てその末席に加えていただいたことに感慨もひとしおです。社会貢献を通じて地域の発展の一翼を担えるよう努力する所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



2019-20 年度地区役員 委嘱書授与

ロータリー・リーダーシップ研究会
ディスカッションリーダー



新井 清太 会員

内山 泰成 会員

ゲスト卓話

さいたま市児童養護施設 カルテット
施設長 大原 岳夫 様



さいたま市児童養護施設カルテットの施設長の大原岳夫様に施設概要および支援内容について卓話をして頂きました。

カルテットでは児童は4つのユニット(各15人)に分かれて幼児から高校生まで男女共同で生活していますが、現在入所している児童の8~9割が虐待によって保護されたケースで、親の養育能力の問題など環境上の理由が1割程度。両親をなくした、いわゆる孤児は現在は少数となっています。

「Welfare ウェルフェア(施しの福祉)から Well-being ウェルビーイング(自己実現の福祉)へ」を目指し、児童の生きる力を育むことを目的とした行事として、参加児童に応じて30~40kmのコースを設定し踏破するナイトハイクや、幼児から高校生まで対象学年に合わせた野外活動を行うキャンプなどの「冒険プログラム」、創立記念日・クリスマス会・卒園式・ダンスクラブ、音楽ワークショップなどの「芸術表現プログラム」を実施しています。

今回は、子ども達の自尊感情を高めるための芸術表現系プログラムのさらなる効果的な演出に必要な音響器機(マイク)の増設と省電力トランシーバー支援をお願いいたします。

最後に昨年度行われた卒園式をご紹介します。本日はご清聴ありがとうございました。





米山記念奨学金支給及び近況報告

【プレゼンター 小木曾 賢己 会長】



米山記念奨学生
ディルバ・サレマンさん



みなさん、こんにちは。米山奨学生になり4ヶ月目です。この期間に米山奨学会のいくつかの活動に参加したことでロータリーについて深い理解を得ました。ロータリーの仕事は善、そして援助を中心とした大きなグループであると思いました。出来れば私もロータリアンと同じ人になりたいです。今、ロータリーは私の人生を良い方向に変え、私の将来の希望を与え、人生に対する私の見通しを改善しています。皆さんに感謝したいです。ありがとうございます。



ディルバさんのお誕生日なのでカウンセラーの福田会員より花束とプレゼントのサプライズ!!
～ひまわりのように世界を照らしてください～